

| 科目名             | 必修・選択   | 単位数 | 類型  |
|-----------------|---|-----|-----|
| 論理・表現Ⅰ          | 必修  | 2   | 普通  |
| 論理・表現標準（論理・表現Ⅰ） | 必修  | 2   | G C |
| 教科書<br>副教材等     | Vision Quest Standard English Logic and Expression Ⅰ（啓林館）<br>Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard ワークブック（啓林館） |     |     |

### 1 学習目標

中学校で習得したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、3領域（「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」）の発信能力の育成を目標とします。特に論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝えること又は伝え合うことに重点を置きます。発信に係る言語活動を、ペアやグループで行ったり、提示する課題を変えたりしながら学んでいきます。実際の指導に当たっては、デモンストレーションやモデルとなる文章などを豊富に提示し、それらを活用しながら話したり書いたりする力を総合的に伸ばします。

### 2 学習概要

- ア 文の種類について学びます。中学校の復習を踏まえながら基本的な文の種類をまとめます。
- イ 文型と動詞、時制について学びます。基本的な文型と時制を習得します。
- ウ 完了形・助動詞を学びます。完了形の使い方を習得します。助動詞を用いることでさまざまなニュアンスを動詞に付加できることを学びます。
- エ 受動態・不定詞を学びます。受動態は能動態との違いを明確にし、場面に応じた態の使い方を学びます。不定詞のさまざまな用法を習得します。
- オ 関係詞・比較・仮定法を学びます。関係詞は・比較は平易な表現からはじめ徐々に複雑な表現ができるように、基本的な表現を徹底して身につけます。仮定法は事実とは反対の事柄を独特な表現の形式を意識して身につけます。
- オ 年間を通して発信能力を強化します。スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等の活動を通して、学んだ表現を活用して身につけます。

### 3 学習方法

#### (1) 授業への取組

- ・英語の発信能力をバランスよく授業の中で身につけます。そのために必要なことは、積極的に授業に参加し、コミュニケーションを取ろうとする姿勢です。授業でのポイントを理解し、実際に話したり書いたりしながら、発信能力を伸ばします。授業では確認テスト等も定期的に行います。理解できないことがあった場合はその日のうちに質問し、そのままにすることがないようにしてください。

#### (2) 家庭学習

- ・予習は、教科書の内容を一読し、事前にどんな内容を学ぶのかを確認しておいてください。その際、わからない単語・熟語・表現は辞書で調べておきましょう。
- ・復習は、授業で学んだ表現を反復練習することで習得します。実際の場面を想定し声に出して表現してみましょう。間違いを恐れずに表現することが大切です。さらに、理由や根拠を意識した英語の発信・受信ができるように学習を進めてください。

#### (3) 英語力向上のために

- ・毎日継続的に学習をすることが重要です。学習しない日を作らないように意識して勉強してください。英語力は学習量に比例します。実際に英語を話したり書いたりすることを学習の中心に据え取組んでください。日常的な話題から始めて徐々に社会的な話題についても表現できるように学習を進めてください。

#### 4 評価について

##### (1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・ 定期考査 (中間・期末考査、学力テスト) ……………①、②
- ・ 確認テスト……………①
- ・ 授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・ 発問に対する発表内容……………②、③
- ・ 課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

##### (2) 評価規準

|             | 知識・技能 (①)   | 思考力・判断力・表現力 (②)   | 学びに向かう人間性 (③)   |
|-------------|---|---|---|
| 評価基準 (数学 I) | <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能 (聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと) において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p> | <p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p> | <p>○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> |

## 5 学習計画

| 学期          | 単元名                               | 学習のねらい（内容のまとめごと）                   | 考査等    |
|-------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------|
| 一<br>学<br>期 | Lesson 1 紹介<br>文の種類               | クラブ活動をクラスに紹介することができる。              | 学力テスト  |
|             | Lesson 2 学校生活<br>文型と動詞            | 文化祭についてパートナーと話し合うことができる。           | 中間テスト  |
|             | Lesson 3 旅行・観光<br>時制              | 旅行の経験をクラスに話すことができる。                |        |
|             | Lesson 4 趣味・関心<br>完了形             | スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。        | 期末テスト  |
| 二<br>学<br>期 | Lesson 5 将来・進路<br>助動詞             | パートナーに将来の夢を語るすることができる。             | 学力テスト  |
|             | Lesson 6 日常生活<br>受動態              | 買い物について質問したり、答えたりすることができる。         | 中間テスト  |
|             | Lesson 7 交流・国際<br>不定詞             | 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。             |        |
|             | Lesson 8 スポーツ・健康<br>動名詞           | スポーツをすることの利点について発表することができる。        |        |
|             | Lesson 9 メディア・コミュニ<br>ケーション<br>分詞 | 自分自身や性格について発表することができる。             | 期末テスト  |
| 三<br>学<br>期 | Lesson 10 文化・異文化理解<br>関係詞         | 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。         | 学力テスト  |
|             | Lesson 11 国際問題<br>比較              | 国際問題について自分の考えを示すことができる。            | 学年末テスト |
|             | Lesson 12 社会問題<br>仮定法             | 日本の社会問題についてクラスに自分の意見を<br>示すことができる。 |        |